

機関誌掲載論文の種類追加について

編集委員会では、2015年11月14日より、“Japanese Psychological Research”に“Brief Report”の論文種類を追加しました。

「心理学研究」

原著論文 (Original Article) : 原則として、問題提起と実験、調査、事例などに基づく研究成果、理論的考察と明確な結論をそなえた研究。(10 ページ)

研究資料 (Methodological Advancement) : 新たな実験装置や解析プログラムの開発、新たな心理測定尺度の作成やデータベースの構築など、研究の遂行に有用な新たな方法、技術およびデータに関する報告。(10 ページ)

研究報告 (Research Report) : すでに公刊された研究成果に対する追加、吟味、新事実の発見、興味ある観察、少数の事例についての報告、速報性を重視した報告、萌芽的発想に立つ報告。(6 ページ)

展望論文 (Review Article) : 心理学の最近の重要テーマについて、研究状況、主要成果、問題点等を解説し、研究の意義と今後の課題を論じる。(20 ページ)

なお、“研究報告”の速報性を担保するために、審査期間は短縮して設定されます。

“Japanese Psychological Research”

Original Article: 原則として、問題提起と実験、調査、事例などに基づく研究成果、理論的考察と明確な結論をそなえた研究。新たな実験装置や解析プログラムの開発、新たな心理測定尺度の作成やデータベースの構築など、研究の遂行に有用な新たな方法、技術およびデータに関する報告も含む。(12 ページ)

Brief Report : すでに公刊された研究成果に対する追加, 吟味, 新事実の発見, 興味ある観察, 少数の事例についての報告, 速報性を重視した報告, 萌芽的発想に立つ報告。(8 ページ)

Review : 心理学の最近の重要テーマについて, 研究状況, 主要成果, 問題点等を解説し, 研究の意義と今後の課題を論じる。編集委員会から執筆依頼を行う “Invited Review” を含む。(24 ページ)

公益社団法人 日本心理学会

機関誌等編集委員会